

# 🍷 地イベントピックアップ!

まだHPでも  
イベント情報掲載中



11/15 中宮第3 (大阪府枚方市)

## 新しくなったひろばで、 にぎわいを体感 となりのひろばを 使ってみよう

中宮第3で行われた「MUJ」xUR団地まるごとリノベーションプロジェクト完成お披露目イベントに参加しました。会場は、かつてプールとして使われていた「プール跡ひろば」。秋のやわらかな日差しの中、コーヒーの提供や絵本の販売も行われ、子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、新しくなった空間をゆったりと楽しんでいました。ひろばには1万個のカプラ(積み木)が登場し、子どもたちは夢中で高く積み上げたり、思い思いの形をつくらしたり大はしゃぎ。近くでは大人が声を掛けたり、そっと手を貸したりする姿も見られ、自然と会話が生まれていきます。また、次世代MVR体験も行われ、真剣な表情で試す参加者の姿が印象的でした。



1 かつてのプール跡が大変身  
2 大阪電気通信大学の学生がDIYで完成させた「キュウカンサ」の本棚



中宮第3の  
守り窓とるる  
住棟の壁画が  
かわいらしい!

レポーター:S.S.さん

11/29 花山東 (神戸市北区)

## 広場の新愛称も決定! 第3回 「花山まちめぐり」

晴天の下、恒例の「花山まちめぐり」が開催されました。花山駅前広場と団地内をめぐりながら楽しめる1日となりました。スタンプラリーのチェックポイントではキッチンカーも出店。食べ歩きをしながらスタンプを集める参加者でにぎわいました。地域の方によるフリーマーケットや縁日ゲーム、ダーツや輪投げなどもあり、子どもたちの元気な声が響いていました。ALT(外国語指導助手)による絵合わせゲームやラダーボールなど外国文化に触れる企画のほか、団地集会所は「タイムスリップ花山&文化体験エリア」として、昭和風フォトスポットや昔遊び体験も人気でした。ステージでは大池中学校のブラスバンド演奏、やまびこ幼稚園やALTによる歌の演奏などが行われ、会場は温かな雰囲気包まれていました。ステージ横では、地域の方から応募があった団地内広場の愛称5作品に対する投票場所が設けられました。イベントの最後には、投票の結果「はなまる広場」に決定したと発表されました。新しい名前とともに、さらに多くの人が集う場になっていそうです!



1 ALTのステージで盛り上がり  
ました  
2 ゲームで国際交流



花山東の  
守り窓とるる  
三宮への  
アクセスがよい!

レポーター:K.T.さん

12/13 森之宮第2 (大阪市城東区)

## 子どもと一緒に 夢中でトライ! クリスマス スポーツ縁日

森之宮第2の6・8号棟集会所で開かれた「クリスマススポーツ縁日」に参加してきました! 会場に入ると、元気な声と笑い声で一気に気分が上がります。まず挑戦したのは、柔軟性や瞬発力を確かめるスポーツエクスト。子どもと一緒に体を伸ばしたり跳んだり、親の私までつい本気! ボールを投げてスピードを測るスピードショットチャレンジでは、数字が出るたびに「もう1回!」と大盛り上がりでした。ポッチャは最初こそ難しそうでしたが、「コツをつかんだかたも!」と声掛けをしながら、子どもたちの表情がどんどん明るくなっていきます。午後には大学生が用意してくれたウニたきやボウリング、景品釣りも登場して大喜び。工作コーナーではやさしく教えてもらい、松ぼっくりのオーナメントやスノードーム、キャンドルライトを作って、手も心もほかほか。充実した家族の1日となりました。



1 ボールを転がして点数を競うカーリングのような「ポッチャ」  
2 工作コーナーではクリスマスグッズを手作り!



森之宮第2の  
守り窓とるる  
大阪城が  
ペランダから見える!

レポーター:S.K.さん

12/18 千鳥橋 (大阪市此花区)

## 測って、ほぐれて、話して整う ぶらっとこのはな 「健康測定&ハンドマッサージ」

集会所で開催された、ぶらっとこのはな「健康測定&ハンドマッサージ」に参加しました。最近ちょっと自分の体が気になって、「今の状態を知りたい」と思ったのがきっかけです。会場にはすでに参加者がいっぱい、その人気にびっくり。順番待ちの間は、用意されていた塗り絵や折り紙でクリスマスツリーを折りながら、自然と会話が弾みます。「血管年齢が気になって」「野菜、足りてるかな」「マッサージ楽しみ!」と、初対面でも和気あいあいです。測定は血管年齢、ペジチェック、骨ウェーブの3種類。結果は、血管年齢が思っていたよりよかったです。で正直ショックでしたが担当の方がすぐに取り組みそうな改善案をやさしく提案してくれて前向きになりました。最後のハンドマッサージは、セラピストさんが丁寧に手のひらをほぐしてくださり、指先がふっと軽くなる感覚。帰り際には待ち時間を一緒に過ごす方と「どうだった?」と結果を共有できて、測るだけじゃない温かさが残りました。健康も気持ちも整う時間、次回もまたあれば参加したいです。



1 和気あいあいと測定する皆さん  
2 順番待ちの間に皆さんが折ったクリスマスツリー



千鳥橋の  
守り窓とるる  
近くにおいしいご飯屋  
さんがいっぱい!

レポーター:S.K.さん

# 自治会活動に参加してみました

西長堀 (大阪市西区)

## 都会の中で、子どもたちの居場所を育む

今回お邪魔したのは、約260戸の西長堀。かつて司馬遼太郎が暮らしていたことでも知られるこの団地は、都心の真ん中にありながら、公園やゆとりある敷地を備え、子どもたちが安心して遊べる環境が広がっています。自治会長を務めるのは、居住歴48年になる菅野道夫さんです。西長堀の自治会活動の大きな特徴は、子どもたちに向けた季節のイベントが充実していること。クリスマス会やハロウィンに加え、毎年夏には団地の中庭にビニールプールを設置する「プール開き」が行われています。このプール開きは、団地から引越した子どもが「今年も行きたい」と遊びに来るほどの人気企画。菅野会長は「子どもたちに楽しんでもらえることを一番考えています」と話します。また、消防を招いた防災訓練も毎年実施し、災害備用品用の倉庫を整備するなど楽しだけでなく、万が一に備える取り組みも大切にしています。

日常の活動としては、毎週土曜日に高齢者が集い、お茶を飲みながらゆっくりとお話を開催。月に1度はカラオケの集まりとなり、歌声と笑い声が集会所に響きます。さらに、毎週金曜日には「100歳体操」が行われ、無理のない運動を通して健康づくりにも取り組んでいます。自治会活動を続けていくため、菅野会長たちはチラシを作成し、加入の呼びかけも行ってきました。その結果、若い世代の加入もあり、子ども向けイベントを継続して実施できる体制が整っています。「自治会活動は地域防災のななめ。だからこそ、できるだけ多くの人に参加してほしい」と菅野会長。子どもから高齢者までが顔を合わせ、支え合いながら暮らす西長堀。日々の積み重ねが、安心して暮らせる団地の姿をつくり出しているようでした。



▲毎年恒例のプール開き



▲菅野会長

▲防災訓練も欠かずに実施

# 私も だんち特派員

日々の暮らしにまつわる写真をレポート付きで皆さんから募集する「私もだんち特派員」!今号も多くの記事が送られてきました!

豪華景品が当たるチャンス!

皆さまから素敵な写真をお待ちしています。応募方法は7ページの下部をご覧ください。



#引越しの決め手  
#普段の悩みも消える

淀川と山間まで見渡せるこの景色がとても気に入っており、朝晩にカフェオレ等を飲みながら景色を見てぼーっと過ごしています。  
(高見フローラルタウン M.K.さん)



#帰り道の出会い #満月

お月さまの写真を撮ろうと思って場所を探して見上げたら団地内の紅葉がお月さまに照らされてきれいでした。  
(シティハイツイ西宮北口 E.A.さん)



#黄色の絨毯 #もうすぐ冬!

黄金色に輝く銀杏の木もうすぐ黄色の絨毯を敷き詰め冬の訪れを教えてください。  
(武庫川 H.N.さん)



#冬のさくら  
#寒さに負けるな

団地の中には、色々な木が植えられていて、四季折々楽しませてくれます。冬の桜が寒さに負けず咲いている姿を見て元気をもらいました。  
(金剛 K.N.さん)

# 団地テナント 気になるお店:

## 小さな釣り堀屋

千鳥橋団地 (大阪市此花区)



## 96歳の祖父と始めた、団地の「釣りデビュー」スポット

千鳥橋団地の一角にある「小さな釣り堀屋」。最初は「団地に釣り堀?」と半信半疑だったのですが、扉を開けた瞬間、いい意味で裏切られました。室内だから雨でも安心、釣りざおも用意されているので手ぶらでもOK。子どもと一緒にでもふらっと寄れる「気軽さ」が整っています。「開業のきっかけは、家で暇そうにしていた96歳の祖父の姿でした。それじゃ一緒に何かやってみよう」と声をかけたんです。お客さんと接することで祖父が元気になってくれたら、はにかむように語るの店主の中瀬孝富さん。採算よりも祖父が元気でいられることが最優先で、売り上げを強く意識することはほとんどないという。当初の想定と異なったのは客層の違い。近所の高齢者が遊びに来てくれるかと思いきや、実際には約8割が子ども連れのファミリー。釣りガールやカップル、釣り好きの男性など幅広い世代が訪れ、しかも初めての来店

者が多いとか。そのため、店は自然と「教える場」に。押しつけはせず、求められたら助ける。自分の感覚でやりたい人もいるから」と笑う。その距離感が心地いい。そして、この店の魅力が水の透明度です。底が見えるほど澄んだ水に、常連さんでさえ「え、見える!」と驚くようです。清掃や管理は手間がかかるものの、衛生的で水がかかっても気にならないのがうれしい。最近はアプリゲームで興味を持ち、釣りに興味を持つ子どもも多い。ただ待ち時間に慣れない世代は「釣れへん!」となりがち。そのギャップもまたゲームとリアルとの違いを感じられる面白さです。中瀬さんの目指すのは、「気軽な釣りの入り口」をつくること。淀川や港が近くても、実際には立ち入り制限や安全面でハードルが高い。でもここなら親子で同じ瞬間に「釣れた!」を共有できる。団地の中で生まれる小さな感動、ちょっとしたぞきに行ってみませんか。

### SHOP DATA

📍 大阪市此花区伝法 1-1-1 千鳥橋団地1号棟101号  
🕒 12:00~17:00(土・日・祝11:00~18:00) 📞 年中無休  
🚶 阪神なんば線「千鳥橋」駅 徒歩約7分  
または阪神本線「淀川」駅 徒歩17分

- 1 まず団地で釣り! ?と驚かされる
- 2 金魚やメダカすくい体験可能!
- 3 団地の中で悠々とコイが泳ぎます

# くらしつなげるサポーターを訪ねて 団地暮らしのパートナー

第37回

醍醐石田(京都市伏見区)  
大西さん



## つながりを広げ、 元気の輪をつくる

2024年10月に着任し、くらしつなげるサポーターとして活動して約1年になります。私が担当している醍醐石田団地は、住戸数2,087戸の大規模団地で、高齢の一人の方が多く暮らしています。日々の見守りや声かけの大切さを強く感じています。

普段の業務の中心は、住民の皆さんからの相談対応です。内容はさまざまですが、時間がかかるご相談でも、納得していただけるまでじっくりお話を聞くようにしています。毎日何度も来られる方もいらっしゃいますが、「話を聞いてもらえる場所がある」と自体が安心につながると感じています。必要に応じて地域包括支援センターなどと連携し、適切な支援につなぐことも私たちの大切な役割です。また、イベントの企画にも力を入れています。遊び感覚で参加できる「ゆるい競争」を取り入れ、自然と笑顔や会話が生まれる場をつくりたいと考えています。ポッチャなどのチーム競技は特に盛り上がり、元気の源になっているように感じます。「ありがとう」「安心して暮らせるわ」と声を掛けていただく瞬間が、何よりの励みです。困ったときに「まず相談してみよう」と顔と名前が浮かぶ存在でありたいです。見かけたら、ぜひ気軽に声を掛けてください。

## 私の活動!

娘の推し活に私も全力投球。動画を見たり、時にはライブに出掛けたりと、娘と一緒に楽しむように心掛けています。

※10月1日から「生活支援アドバイザー」は「くらしつなげるサポーター」へと改称いたしました。